

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		河川の護岸築堤等				事業番号、事業名		17 総合流域防災		補助・単独別		補助		建設部		河川課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針						
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況									
1	きたがわ 北沢川 やどいわ 宿岩 (佐久穂町)	【2期分】 護岸工L=640m 掘削工V=10,000m ³ 橋梁工7橋 〔工期:H22~H26〕 【全体】 護岸工L=1,140m 掘削工V=13,000m ³ 橋梁工8橋 〔工期:H20~H26〕	護岸工 L=24m 橋梁工 N=1橋	護岸工 L=160m 橋梁工 N=1橋	護岸工 L=420m 橋梁工 N=4橋	評価時 (当初) H20	30%	計画どおり進んでいる。 引き続き橋梁の架け替え工事及び護岸工を実施する。	当河川は、数年おきに沿川の民家が床下、床上浸水被害を被り、恒久的な対策を求める声強い現状や、地元組織も設立され、事業の受け入れ態勢も整っている事から、「継続」とする。	重要性、緊急性は認められる	「継続」						
												必要性 C	特記事項 1期は橋梁工2橋及び護岸工に着手した。				
												重要性 A					
												効率性 A		B/C(費用対効果)=3.2			
緊急性 A	住民参加状況等 特になし																
2	かなぼらかわ 金原川 かいげんじきた 海善寺北~ もとうんの 本海野 (東御市)	【2期分】 護岸工L=350m 橋梁工N=1基 BOX工2基 〔工期:H22~H26〕 【全体】 護岸工L=1800m 橋梁工N=21基 BOX工2基 〔工期:H17~H26〕	護岸工L=18m 国道横断函渠工 N=1基	函渠工 N=1基	護岸工L=126m 鉄道横断函渠工 N=1基 市道横断函渠工 N=1基	評価時 (当初) H17	67%	計画どおり進んでいる。 平成23年度内に国道横断函渠工を完成させ、引き続き護岸工および下流部のしなの鉄道渡河部に着手する。	頻繁に溢水被害が発生しており緊急性も高く、国道、住宅地を流下する河川として重要性が高い。また、改修に対する地域住民との合意形成も図られていることを考慮し、継続としたい。	重要性、緊急性は認められる	「継続」						
												必要性 B	特記事項 1期は護岸工及び一部国道横断函渠工に着手した。				
												重要性 A					
												効率性 B		B/C(費用対効果)=1.2			
緊急性 A	住民参加状況等 地域住民による河川沿川の美化活動が実施されている。																
3	おおかわ 大川 ちゅうおまち 中央町 (岡谷市)	河道拡幅 L=950m 調節池 N=3池 〔工期:H15~H30〕	河川改修 L=220m	公共補償 1式	河川改修 L=500m 調節池 N=2池	評価時 (当初) H15	38%	計画どおりに進んでいる。 引き続き上流に向け河川改修工事を進める。	岡谷市中心市街地を流下する河川で、毎年のように浸水被害が発生しており、住民等から早期改修の要望が強く、重要性並びに緊急性が高いため、継続とする。	重要性、緊急性は認められる	「継続」						
												必要性 B	特記事項 毎年のように住宅地及び市中心市街地で浸水被害が発生しており、浸水区域の住民を中心に早期改修の要望が大変強い。これまでの事業で山下町調節池が完成し、夕立程度の降雨による溢水被害が軽減され、一定の治水効果が得られている。				
												重要性 A					
												効率性 A		B/C(費用対効果)=5.9			
緊急性 A	住民参加状況等 地元関係区等による草刈や河川清掃等の河川愛護活動が行われている。																

分野	河川の護岸築堤等	事業番号、事業名	17 総合流域防災				補助・単独別		補助	建設部 河川課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
4	諏訪湖 (諏訪管内一円)	【2期分】 水辺整備工L=960m (BゾーンL=660m、C ゾーンL=300m) 【工期:H22～H26】 【全体】 水辺整備工 L=12,000m 【工期:H7～H26】	水辺整備工 L=100m(Bゾー ン)	水辺整備工 L=60m(Bゾー ン)	水辺整備工 L=780m (BゾーンL=480m) (CゾーンL=880m)	評価時 (変更) H23	16%	計画どおり進んでいる。 引き続き、水辺整備工を実施する。	これまでの整備実績 や関係者の意見等を 踏まえ、引き続きマス タープランの目的を实 現するため、継続とす る。	必要性が認められる	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H7策定「諏訪湖水辺整備マスタープラン」に基づく整備を実施 中。					
						重要性 A	現在は未完成のB、CゾーンのうちBゾーン整備中。 平成21年度の諏訪圏域河川整備計画の策定(変更)において、 環境モニタリング調査や関係者の意見等を踏まえながら事業を 継続することが方針として示された。					
						効率性 B	住民参加状況等 アダプトプログラムによる清掃美化活動や自治会や学校等に よる河川愛護活動が行われている。					
5	あざわかの 小沢川 いな 伊那 (伊那市)	(総流防) 護岸工 L=750m、A=8,250m ² 落差工N=5基 橋梁工N=1基 【S53～H26】	護岸工 L=88m 落差工 N=0.5基	護岸工 L=56m 床止工 N=1基	護岸工L=50m 落差工N=1基	評価時 (当初) H15	89%	計画通り進んでいる。	伊那市中心市街地を 流下する河川で、想 定氾濫区域内に多く の公共施設や住宅地 等があり、重要性が高 く、緊急に流下能力向 上の必要があるため、 継続とする。	必要性が認められる	「継続」	
						必要性 A	特記事項 平成16年10月の台風23号に伴う増水により坂下区住民に避難 勧告が出され、地区住民80人が伊那小学校へ避難。その経験 から河川改修を求める地元の声は根強い。					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=16.7					
						効率性 A	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行われて いる。					
6	えんごまわかの 円悟沢川 まるやま 丸山 (飯田市)	【2期分】 護岸工L=320m 【工期:H24～H26】 【全体】 護岸工L=695m 【工期:H4～H26】	休止	用地測量 1式 用地買収 1式 物件補償 1式	護岸工 L=320m	評価時 (変更) H18	48%	H18までに1期分完了、H19から2期分につい て計画変更、H22までに概略設計完了、H23 詳細設計を実施し関係機関及び地元調整 中。H24から再開予定。	流域内に多くの公共 施設や住宅地等があ り、重要性が高い。 H18再評価時の指摘 事項を解決し、H24か ら事業再開とする。	見直し後の計画に 沿った整備の必要性 は認められる	「継続」	
						必要性 B	特記事項 H18再評価:「継続」...多自然川づくりの新基準に準拠したに河 道計画、河川断面とし、コスト縮減を図る。 見直した河道計画について、関係機関及び地元と設計協議を 進め、早期の工事着手を目指す。					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.3					
						効率性 B	住民参加状況等 地元まちづくり委員会による草刈や河川清掃等の河川愛護活 動が行われている。					
緊急性 C												

分野	河川の護岸築堤等	事業番号、事業名	17 総合流域防災				補助・単独別	補助	建設部	河川課	
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	ひめかわ 姫川 かみしろ 神城	【2期分】 築堤工L=2,930m 軟弱地盤対策工 L=500m 【工期：H22～H25】 【全体】 築堤工L=2,930m 護岸工L=5,860m 軟弱地盤対策工 L=1,500m 【工期：H5～H25】	休止	休止	築堤工L=2,930m 軟弱地盤対策工 L=500m	評価時 (変更) H18 必要性 C 重要性 A 効率性 C 緊急性 C	94% 特記事項 H18再評価：見直しで継続 1期は、下流から護岸工を実施した。 計画最上流部において、護岸計画を一部とりやめ既存の河畔 林帯を生かした計画に見直しを行っている。	平成18年度の再々評 価結果を受け、事業を 見直しているため平成 24年度は休止とする。	見直し後の計画に 沿った整備の必要性 は認められる	「休止」	
	(白馬村)	21億6600万円	0円	0円	1億2800万円	住民参加状況等 地元在住の自然保護の専門家の指導のもと、地元住民と協議 して工法検討している。					
8	おかだかわ 岡田川 しの 篠ノ井	【2期分】 護岸工 L=900m 河床掘削工 V=25,000m ³ 橋梁2橋 伏越1箇所 【工期：H22～H26】 【全体】 護岸工L=4,248m 河床掘削工 V=144,000m ³ 橋梁 17橋 【工期：H17～H26】	護岸工L=260m	護岸工 L=80m 橋梁 N=2橋 (下部工のみ)	護岸工 L=490m 橋梁 N=2橋 伏越 N=1箇所	評価時 (変更) H23 必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	68% 特記事項 1期(～H14)は、下流から護岸工・河床掘削工を実施した。 平成22年7月梅雨前線豪雨により99戸浸水被害発生。 H23変更：2期分の施工延長585m及び事業費5.6億円増。	本川沿いでは区画整 理事業が実施されて おり、保全対象も増加 傾向にある。 河床勾配が緩く、河幅 が狭いため近年の集 中豪雨時は頻繁に浸 水被害が発生するた め、早急な改修が必 要なため継続とする。	必要性、緊急性が高 く、重要性も認めら れる。	「継続」	
	(長野市)	66億4000万円	1億4800万円	1億5000万円	27億5760万円	住民参加状況等 期成同盟会の要望活動が盛んである。地元活動も協力的であ り、堤防沿いにさつきを植え景観への配慮に協力している。					
合計	8箇所	237億3030万円	5億4800万円	6億4200万円	71億9330万円	A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満					